

受付番号：2018-1-34

課題名：間質性肺炎合併原発性肺癌における術前 FDG-PET/CT 所見と術後間質性肺炎の急性増悪との関連に関する研究

### 1. 研究の対象

東北大学病院にて 2012 年 11 月から 2017 年 10 月までの間（5 年間）に、原発性肺癌のために手術を受けられた方で、手術前より間質性肺炎を合併していた方。（手術前に放射線療法を行った方は除外されます。

### 2. 研究期間

2018 年 4 月（倫理委員会承認後）～2019 年 3 月

### 3. 研究目的

間質性肺炎を合併された原発性肺癌の患者さんは、肺癌手術後に間質性肺炎の急性増悪（間質性肺炎の急な悪化）を認める場合がございます。本研究は、原発性肺癌手術後の間質性肺炎の急性増悪が、術前の PET-CT 検査の結果により予測可能であるか検討することです。

### 4. 研究方法

東北大学病院にて 2012 年 11 月から 2017 年 10 月までの間（5 年間）に、原発性肺癌のために手術を受けられた方で、手術前より間質性肺炎を合併していた方を抽出し、診療記録より得られる術前所見、手術所見、病理所見ならびに術後経過を後方視的に検討します。

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

以下の情報を診療記録から得て研究を行います。

臨床病理学的情報：

年齢、性別、身長、体重、病歴（現病歴、既往歴、手術歴）、各種術前画像検査結果（CT、PET-CT、胸部単純 X 線写真等）、手術前後の血液・尿検査結果、術後経過等

病理学的情報：

手術時に切除した検体による病理組織結果等

## 6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

## 7. 研究組織

本学単独研究

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

大石 久

東北大学病院 呼吸器外科

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-8521

### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口と

なります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合